

添削指導及び面接指導の指導方法書

1 添削指導

(1) 添削指導の進め方

全 6 回の指導。提出期限については、学則に示した通り。評価方法は、担当が添削する。認定基準は、7 割以上とし、認定基準に満たない受講者に対しては、採点后、解答した用紙を返却し、出来なかった部分を再提出する。質問に対しては、受講生から、手渡し・郵送・FAX 等の手段で提出する。回答については、質問票への回答を記載し返却する。

(2) 課題（レポート）（別紙として添付）

2 面接指導

面接指導の講義・演習

科目（項目）名	内 容	研修時間
「職務の理解」 多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険による居宅サービス ・ 介護保険による施設サービス ・ 介護保険外のサービス 	3 時間
「職務の理解」 介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービスを展開する現場の実際(実習) ・ 介護サービスの提供に至るまでの流れ ・ 介護過程とチームアプローチ、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 	3 時間
「介護における尊厳の保持・自立支援」 人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権と尊厳の保持 ・ I C F ・ Q O L ・ ノーマライゼーション ・ 虐待防止・身体拘束禁止 ・ 個人の権利を守る制度の概要 	1. 5 時間
「介護の基本」 介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護環境の特徴 ・ 介護の専門性 ・ 介護にかかわる職種 	1. 5 時間
「介護の基本」 介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職の倫理の意義 ・ 介護福祉士の倫理 	1. 5 時間

「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」 介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度創設の背景および目的， 動向 ・ 介護保険制度のしくみの基礎的理解 ・ 制度を支える財源， 組織・団体の機能と役割 	1.5時間
「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」 医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医行為と介護 ・ 訪問看護 ・ 施設における看護と介護の役割・連携 ・ リハビリテーションの理念 	1.5時間
「介護におけるコミュニケーション技術」 介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションの意義， 目的， 役割 ・ コミュニケーションの技法 ・ 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・ 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 	3時間
「老化の理解」 老化に伴うところとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 	3時間
「認知症の理解」 認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症のケアの理念 ・ 認知症ケアの視点 	1.5時間
「認知症の理解」 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患とその病態 ・ 原因疾患別ケアのポイント ・ 健康管理 	1.5時間
「障害の理解」 障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と I C F ・ 障害者福祉の基本理念 	0.5時間
「障害の理解」 障害の医学的側面， 生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害 ・ 知的障害 ・ 精神障害(高次脳機能障害・発達障害を含む) ・ その他の心身の機能障害 	1時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理論に基づく介護 ・ 法的根拠に基づく介護 	2時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習と記憶に関する基礎知識 ・ 感情と意欲に関する基礎知識 ・ 自己概念と生きがい ・ 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・ こころの持ち方が行動に与える影響 ・ からだの状態がこころに与える影響 	3時間

<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の維持・恒常のしくみ ・ 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・ 骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 ・ 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 ・ 自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・ こころとからだを一体的に捉える ・ 利用者の様子の普段との違いに気づく視点 	<p>3.5時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 生活と家事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活と家事の理解 ・ 家事援助に関する基礎知識と生活支援 	<p>4.5時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 快適な居住環境整備と介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な居住環境に関する基礎知識 ・ 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 	<p>4時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整容に関する基礎知識 ・ 整容の支援技術 	<p>4時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・移乗に関する基礎知識 ・ 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 ・ 利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 ・ 移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 ・ 移動と社会参加の留意点と支援 	<p>8時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に関する基礎知識 ・ 食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 ・ 楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・ 食事と社会参加の留意点と支援 	<p>6時間</p>
<p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴・清潔保持に関連する基礎知識 ・ 入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法 ・ 楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 	<p>4時間</p>

「こころとからだのしくみと生活支援技術」 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 	6時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 	3時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・「死」に向き合うこころの理解 ・苦痛の少ない死への支援 	3時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 介護課程の基礎的理解	・様々な事例を通して介護の目的、計画に沿ったサービス提供の重要性、具体的な展開方法、介護過程とチームアプローチについて解説する。	4時間
「こころとからだのしくみと生活支援技術」 総合生活支援技術演習	・介護計画の立案、実技を通して介護手順の習得と技術習得レベルの確認、介護後の見直しと今後の取り組みに向けた検討を行う。	8時間
「振り返り」 振り返り	・科目ごとに振り返り、総復習を行う。	1時間
「振り返り」 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	・介護職に就く、続ける上で、継続的に学ぶこと、研修修了後における継続的な研修について、実例等を紹介する。	3時間

注 「添削指導の進め方」には、例えば、指導の回数、回答の提出期限、評価方法、認定基準、認定基準に満たない受講者に対する対応、質問に対する回答方法等を記載すること。